

25journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

青梅市長選 保守の現新一騎打ち

守る浜中氏、攻める大勢待氏

改革の実行力が高いのは

任期満了に伴う青梅市長選が11月5日告示される。いづれも無所属で、3選を目指す現職の浜中啓一氏(71)＝自民、公明推薦＝と、新人で元市議の大勢待利明氏(48)＝都民ファーストの会、国民民主推薦＝の2人が立候補を予定する。保守の現新一騎打ちとなり、終盤まで競り合いが予測される。ただ、市民の関心は高いとは言えず、投票率は過去最低だった2019年の前回選挙並みの36・51%にとどまるとの見通しの一方、保守同士の票の掘り起こしで前回41・31%前後だろうとの見方もある。投票率が上がれば組織票を固める浜中氏より、保守層から市民派層まで幅広い取り込みを狙う大勢待氏に分がある。12日に投票開票される。9月1日時点の有権者数は11万1932人。

これまで守りの浜中氏、攻めの大勢待氏という印象だが。記者 自民、公明の組織票をしっかりと固めれば勝てる浜中氏に対し、大勢待氏は改革を支持する自民支持層、都民ファーストの会支持層を基盤に、旧民主党支持層、無党派層の取り込みを図る必要がある。政策的には現実的選択をする市民派や共産支持層の票も当て

にできる。とにかく攻めるしかない選挙だ。現場を見てきて、本人の顔が勝負師の顔に変わってきたのにまずは驚く。

もう一度、選挙の構図を整理してみたい。記者 あくまでも保守の現新の争いだ。自民対非自民ではない。まして自公対野党連合でもない。前回、前々の宮崎太郎氏とは全く違う。浜中氏側は、

2期の実績をアピール 浜中氏



自公の組織力で3選を目指す浜中氏

2019年のあきる野市長選になぞらえ、自公対野党連合の戦いとして自民支持層の大勢待氏への反発をおおり、自公票固めを狙っているが、心ある人は自公対野党連合ではないことは十分承知のことだ。

大勢待氏が当選したら4月まで青梅市議だった飛騨紀子氏を副市長にするとのデマも流れた。選挙の情報戦は相手が不利になるデマはよく流されるが。

記者 1996年の自民・石川要三氏対新進・白井孝氏の衆院選

を思いだが、白井氏の妻が創価学会に入つたというデマはひどかった。だが、実際に効いた。大勢待氏の中核的支持層は自民支持者そのものだが、今の自民ではだめだという人たちだ。改革すべきところを改革しなくては日本、地域の未来はないと考える人たちが集まっている。改革保守を標榜している。東京で都民ファーストの会が支持され、全国的には維新の会が支持を伸ばしているのもそうだ。小泉純一郎が「古い自民党をぶち壊す」と言っているのと同じで、白井孝氏の衆院選

り、小池都知事が「都議会のブラックボックス」と東京都議会自民党を批判し、風を吹かせたのも改革保守への期待だった。

10月14日号の本紙で、「改革実行力」と問うたが。

記者 岸田政権の低支持率も改革実行力に期待がないからだ。防衛増税だろうが、景気対策の減税だろうが、確固たる信念と政策の裏打ちがあれば国民は理解するはずだ。それが、また政治家と関連する利権団体が何か企んでいると国民に疑いをもたれるようだと支持は得られない。ポツリポツリと大臣、副大臣、政務官の辞任が続いているのも不信感を増長させる。

浜中氏は「継承と改革」、大勢待氏は正に「改革」を訴える。どちらに実行力があるかはしっかりと見ていきたい。

記者 改革が難しいのは既得権益を守ろうとする人にすれば現状がいいからだ。その姿勢は否定できない。だが、社会全体から見ると、公共の利益を優先して考えなければなら

ないことはたくさんある。公共事業をしっかりと握っている事業者とそうでない事業者では改革への期待、支持に差が出るのは当然だ。青梅市役所内の職員だって、今の立ち位置に満足な職員と新しいことにチャレンジしたい職員では違う。現状がいいなら浜中氏、新しい風がいいなら大勢待氏を支持するだろう。

「今回の選挙は股裂き状態だよ」という声が多い。

記者 それは保守の一騎打ちの選挙にはつきものだ。自民も公明も、森村氏支持層も両陣営から依頼が来る。みんな股裂きだ。

自民党の中田宏参院議員をめぐって場外戦も起きている。

記者 中田宏氏が当初は大勢待氏の顔に載せていたことを自民党が批判したのが始まりだ。大勢待氏は学生時代に中田事務所で政治を勉強し、中田氏にとっては教え子に当たる。大勢待氏の市政報告会などにも足を運んでいた関係から応援した。だが、井上信治衆院議員からおとがめを受け、浜中氏に祈る

おかげさまで 100号

WEB版東京25ジャーナルは毎週土曜日に配信します。

25区管内の政治、経済、社会、
まちの話題を掲載



情報提供・広告の問い合わせなどは
題字下メールをご利用ください。

